

クリーンプラザよこて

建設工事だより

第23号



■発行者■ 横手市役所市民生活部 生活環境課
■発行日■ 平成27年9月15日

工事現場パノラマ写真 (8/24撮影)



～クリーンプラザよこて建設工事の進み具合をお知らせします～

熱回収施設、管理棟、リサイクルセンターでは、外壁貼り付けと屋根のアスファルト防水工事の完了に伴い足場が外されております。現在は内装の施工中です。

雪室、洗車場、計量棟など付属棟は、鉄骨、外壁貼り付けのほか工事が進んでおります。

8月19日(水)から施設への受電が開始されました。6.6^{kV}ボルトの電力を受電し、それぞれの機器単体での動作確認を行っています。

10月末からは「燃やすごみ」を投入し、熱回収施設の性能を確認する試運転を開始する予定です。

●焼却炉試運転の前工程として、次の作業が行われますのでご留意お願いします。

○乾燥焚きについて

10月7日(水)～12日(月)には「乾燥焚き」が行われます。

初めて焼却炉に火を入れ、炉内のレンガ、耐火モルタルなどを焼き固めます。この際、煙や蒸気による白煙が見える場合があります。

○ブローイングアウトについて

10月23日(金)～27日(火)には「ブローイングアウト」と呼ばれる作業が行われます。

簡単に言うと、蒸気などを用いて行うボイラ主配管の清掃です。ボイラ内に異物があると、発電のためにタービンに蒸気を送り込む際タービンの羽を傷つけるおそれがありますので、予防策としてボイラー自身から蒸気を発生させて主配管内の異物を排出する作業を行います。

作業に伴い日中低い大きな音が広範囲に届くことがあります。また、水蒸気により煙突から白煙が見える場合があります。

○ボイラの安全弁テストにて

11月2日(月)～3日(火)にはボイラの安全弁をテスト作動させ、蒸気を大気へ放出します。その際にごく短時間ですが大きな音が発生します。



地中熱井戸ボーリングのようす。

○地中熱を利用したヒートポンプ空調

地中熱は、夏季は外気温より低く、冬季は外気温より高く、温度は年間を通じてほぼ一定です。

無尽蔵の自然エネルギー「地中熱」を有効活用し、気候や外気温などに左右されることなく冷暖房をより少ない電力で実現するシステムです。年間を通じて安定した熱供給が得られるとともに、光熱費の低減も図れます。

夏季の冷房

外気より低い温度の地中熱を排熱源として、冷房を行うため、効率の良い冷房運転が行えます。また、冷房排熱を外気に放出せず地中に放熱するため、ヒートアイランド現象の抑制に繋がります。

冬季の暖房

外気より高い温度の地中熱を熱源として、暖房を行うため効率の良い暖房運転が行えます。また、除霜運転が不要となり、連続的な運転が行えます。



地中熱交換パイプ

地下100メートルまで延びていて、不凍液を循環させることにより熱交換を行います。

○コンテナ洗浄機

ごみ集積庫に配置する折りたたみコンテナは、定期的に汚れの状況をチェックし、汚れがひどくなってきた場合は、洗浄機により洗浄し常に清潔な状態を保つようにします。

この洗浄機は、省スペース・省エネ・低騒音なものを導入し、洗浄～遠心力による脱水～乾燥までを行います。



「クリーンプラザよこて建設工事だより」は、栄地区の皆さんにお届けするほか、栄公民館、各地域局にも置いています。また、市ホームページにも掲載していますので併せてご覧ください。

ご意見・ご質問は下記へお寄せください。

●横手市市民生活部 生活環境課 電話35-2184 FAX33-7838

ホームページ <http://www.city.yokote.lg.jp> ページ番号000016067

E-mail kankyo@city.yokote.lg.jp